

OMRON Industrial Automation

SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series

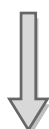
HOST LINK Driver

サポートバージョン	OS	V4.0 以上
	XDesignerPlus	1.0.0.0 以上

CONTENTS

(株)ミスマの“Touch Operation Panel(GX7) Series” ご利用いただきまして、ありがとうございます。ご使用される前に、本マニュアルにて、GX7と外部機器の接続方法および手順をご確認下さい。

1. システム構成 2ページ



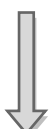
接続に必要な機器、各機器の設定、ケーブル、構成可能なシステムについて説明します。
本項を参照して適切なシステムを選定して下さい。

2. GX7の機種と外部機器の選択 3ページ



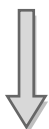
GX7の機種と外部機器を選択します。

3. システム設定サンプル 4ページ



本機器と外部機器の通信接続する設定のサンプルについて説明します。
“1. システム構成”で選択したシステムに従ってサンプルを選択して下さい。

4. 通信設定項目 6ページ



GX7通信の設定をする方法について説明します。
外部機器の設定を変更する場合、GX7の設定も同様に設定して下さい。

5. ケーブル表 9ページ



接続に必要なケーブルの仕様について説明します。
“1. システム構成”で選択したシステムに従って適したケーブルの仕様を選択して下さい。

6. サポートアドレス 10ページ

外部機器と通信可能なアドレスについて説明します。

1. システム構成

GX7と"OMRON Industrial Automation – SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"のシステム構成は、以下の通りです。

Series	CPU	Link I/F	通信方式	システム設定	ケーブル
SYSMAC C	C200H	C200H – LK201 C120 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1.	ケーブル表1.
		C200H – LK202 C120 – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2.	ケーブル表2.
	C200HS	C200H – LK201 C120 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1.	ケーブル表1.
		C200H – LK202	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
		Link I/F on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル3..	ケーブル表4.
	C500 C500F C1000H C2000 C2000H	C120 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1..	ケーブル表1.
		C120 – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
		C500 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル4..	ケーブル表1.
			RS 422/485(4w)	設定サンプル5..	ケーブル表2.
		C500 – LK203	RS 232C	設定サンプル4..	ケーブル表1.
		C500 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル4..	ケーブル表1.
			RS 422/485(4w)	設定サンプル5..	ケーブル表2.
	C1000HF	C500 – LK203	RS 422/485(4w)	設定サンプル5.	ケーブル表2.
	C20H C28H C40H	Link I/F on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル6..	ケーブル表4.
	C20PF C28PF C40PF C60PF	C120 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1..	ケーブル表1.
		C120 – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
	C120 C120F	C120 – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1..	ケーブル表1.
		C120 – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
SYSMAC CQM	CQM1 – CPU21 CQM1 – CPU41 CQM1 – CPU42 CQM1 – CPU43 CQM1 – CPU44 CQM1–CPU41-V1 CQM1–CPU42-V1 CQM1–CPU43-V1 CQM1–CPU44-V1	RS 232C port on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル7..	ケーブル表4.
	CQM1H – CPU11 CQM1H – CPU21	RS 232C port on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル7..	ケーブル表4.
	CQM1H – CPU51 CQM1H – CPU61	RS 232C Port on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル7..	ケーブル表4.
		RS 232C Port on CQM1H – SCB41	RS 232C	設定サンプル8..	ケーブル表4.
		RS 422/485 Port on CQM1H – SCB41	RS 422/485(4w)	設定サンプル9..	ケーブル表5.

Series	CPU	Link I/F	通信方式	システム設定	ケーブル
SYSMAC CPM	CPM1	CPM1 – CIF01	RS 232C	設定サンプル10..	ケーブル表4.
	CPM1A CPM1A – V1	CPM1 – CIF11	RS 422/485(4w)	設定サンプル11..	ケーブル表3.
	SRM1 – C02 CPM2A	RS 232C port on the CPU	RS 232C	設定サンプル7..	ケーブル表4.
		CPM1 – CIF01			
	CPM2C	CPM1 – CIF11	RS 422/485(4w)	設定サンプル11..	ケーブル表3.
		CPM2C – CIF01*1)	RS 232C	設定サンプル12..	(設定無)
		CPM2C – CIF01*2)	RS 232C	設定サンプル13..	ケーブル表4.
		CPM2C – CIF11*2)	RS 232C	設定サンプル14..	ケーブル表4.
		CPM2C – CIF11	RS 422/485(4w)	設定サンプル15..	ケーブル表3.
SYSMAC α	C200HE-CPU42	CPU Unit*2)	RS 232C	設定サンプル16..	ケーブル表4.
	C200HG-CPU63	C200HW – COM02 – V1			
	C200HG-CPU43	C200HW – COM03 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル17..	ケーブル表5.
	C200HX-CPU64	C200HW – COM04 – V1	RS 232C	設定サンプル16..	ケーブル表4.
	C200HX-CPU44	C200HW – COM05 – V1			
	C200HE-CPU42-Z	C200HW – COM06 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル17..	ケーブル表5.
	C200HG-CPU63-Z				
	C200HG-CPU43-Z	C200H – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1..	ケーブル表1.
	C200HX-CPU85-Z	C200H – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
	C200HX-CPU65-Z				
	C200HX-CPU64-Z				
	C200HX-CPU44-Z				
	C200HX-CPU34	C200HW – COM02 – V1	RS 232C	設定サンプル16..	ケーブル表4.
	C200HX-CPU54	C200HW – COM03 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル17..	ケーブル表5.
	C200HX-CPU34-Z	C200HW – COM04 – V1	RS 232C	設定サンプル16..	ケーブル表4.
	C200HX-CPU54-Z	C200HW – COM05 – V1			
	C200HE-CPU32	C200HW – COM06 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル17..	ケーブル表5.
	C200HE-CPU32-Z				
	C200HG-CPU33	C200H – LK201 – V1	RS 232C	設定サンプル1..	ケーブル表1.
	C200HG-CPU33-Z	C200H – LK202 – V1	RS 422/485(4w)	設定サンプル2..	ケーブル表2.
	C200HG-CPU53				
	C200HG-CPU53-Z				
SYSMAC CV	CV500	CV500 - LK201	RS 232C*3)	設定サンプル18.	ケーブル表1.
	CV1000		RS 232C*4)	設定サンプル19..	ケーブル表4.
	CV2000		RS 422/485(4w)	設定サンプル20..	ケーブル表3.
	CVM1	Link I/F on the CPU Unit	RS 232C	設定サンプル21..	ケーブル表4.
	CVM1D		RS 422/485(4w)	設定サンプル22..	ケーブル表5.

*2) RS 232C port on

*3) Port 1

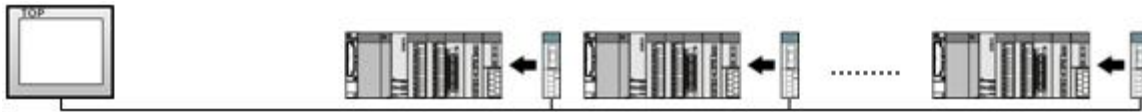
*4) Port 2.

■ 接続可能な構成

- ・ 1 : 1 (GX7 1台と外部機器 1台)接続 - RS232C/422/485通信で接続可能な構成です。



- ・ 1 : N (GX7 1台と外部機器 複数台)接続 - RS422/485通信で接続可能な構成です。



2. GX7の機種と外部機器の選択

GX7と接続する外部機器を選択します。

設定事項		内容	
GX7	Series	PLCと接続するGX7のシリーズ名称を選択します。 設定内容をダウンロードする前に、下の表に記載されているGX7のシリーズに応じたバージョンのOSをインストールして下さい。	
		シリーズ	バージョン名称
		GX7	V4.0
	Name	GX7製品のモデル名を選択します。	
外部機器	ベンダー	GX7と接続する外部機器のベンダーを選択します。 “OMRON Industrial Automation”を選択して下さい。	
	PLC	GX7に接続する外部機器のモデルシリーズを選択します。 “Mドライバ”を選択して下さい。 接続する外部機器がシステム構成可能な機種なのか、1章のシステム構成でご確認下さい。	

3. システム設定サンプル

GX7とSYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINKの通信インターフェース設定は以下の設定を推奨します。

3.1 設定サンプル 1

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLC-GX7 設定
 PLC-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/Cv
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。
 - 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | 装置管理者 | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

- PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

HOST Linkと外部機器の接続方法は以下の通りです。

– C200H-LK201

Rotary Switch	設定	説明
SW1	0	Unit No. x 10
SW2	0	Unit No. x 1
SW3	6	Transmission speed : 19.2Kbps
SW4	2	7-bit Data Length, 2 stop bits, Even
DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unused
SW2	OFF	Unused
SW3	ON	1 : N Step
SW4	OFF	Without 5V Supply

– C120-LK201-V1

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	Unused
SW7	OFF	
SW8	ON	Operation
DIP Switch 2	設定	説明
SW1	OFF	Transmission speed : 19.2Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	Unused
SW7	OFF	1 : N step
SW8	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
DIP Switch 3	設定	説明
SW1	ON	CTS always ON
SW2	OFF	
SW3	ON	Internally synchronized
SW4	OFF	
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	
SW8	OFF	Unused

3.2 設定サンプル 2

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XdesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

HOST Linkと外部機器の接続方法は以下の通りです。

– C200H-LK202

Rotary Switch	設定	説明
SW1	0	Unit No. x 10
SW2	0	Unit No. x 1
SW3	6	Transmission speed : 19.2Kbps
SW4	2	7-bit Data Length, 2 stop bits, Even
DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	Unused
SW7	OFF	
SW8	ON	Operation
DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Transmission Speed : 19.2Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	OFF	Unused
SW6	OFF	1 : N Step
SW7	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
SW8	ON	
DIP Switch	設定	説明
SW1	ON	Attach Termination Resistance
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	Unused
SW8	OFF	

– システム接続により通信接続の先端に外部機器が位置する場合

DIP Switch 3	設定	説明
SW1	ON	Attach Termination Resistance
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	Unused
SW8	OFF	

– 他の場合

DIP Switch 3	設定	説明
SW1	ON	Not Attach Termination Resistance
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	
SW6	OFF	
SW7	OFF	Unused
SW8	OFF	

3.3 設定サンプル 3

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-485 (2 wire, COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	0	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | 装置管理者 | インターフェース

*通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

– Ladder Tool Setting

[HOST Link Port]設定とLadder Toolで[PC System Setting]を開いて下さい。

Ladder Toolからの外部機器マニュアルの詳細を説明します。

設定項目	設定値
Communication Settings	User Setting
Speed	19200
Parameter	7, 2, Even
Mode	HOST Link
Unit No.	0 Unit
Delay	0
CS Control	Enable

– Data Register Value Setting

SW5をOFF設定

以下に、外部機器の設定事項を記載します。

Register	設定	詳細事項
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力し、外部機器をリセットして下さい。

3.4 設定サンプル 4

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-485 (2 wire, COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	0	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウィンドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | 装置管理者 | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

HOST Linkと外部機器の接続方法は以下の通りです。

– C500 – LK201 – V1

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	Unused
SW7	OFF	Unused
SW8	ON	Operation
DIP Switch 2	設定	説明
SW1	OFF	Transmission speed : 19.2 Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	OFF	Unused
SW6	OFF	1 : N Step
SW7	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
SW8	ON	

(追加説明)

Mode Control Switch (前面) : HOST Link

I/O Port(背面) : RS – 232C

Synchronize(背面) : Internal

Termination Resistance(背面) : None

CTS(背面) : 0V

– C500-LK203

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	7 – Bit Data Length, 2 stop Bits, Even
SW7	OFF	
SW8	OFF	Normal
DIP Switch 2	設定	説明
SW1	OFF	Transmission speed : 19.2 Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	System #0
SW6	OFF	1 : N Step
SW7	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
SW8	ON	

(追加説明)

Mode Control Switch(前面) : HOST Link

5V Supply(後面) : OFF

I/O Port(背面) : RS – 232C

Synchronize(背面) : Internal

Termination Resistance(背面) : None

CTS(背面) : 0V

3.5 設定サンプル 5

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インタロフェロス

*通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート:	19200	- ボーレート:	19200
- データビット:	7	- データビット:	7
- 停止ビット:	2	- 停止ビット:	2
- パリティビット:	Even	- パリティビット:	Even
		- 信号レベル:	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番：外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

HOST Linkと外部機器の接続方法は以下の通りです。

– C500 – LK201 – V1

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	Unused
SW7	OFF	Unused
SW8	ON	Operation
DIP Switch 2	設定	説明
SW1	OFF	Transmission speed : 19.2 Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	OFF	Unused
SW6	OFF	1 : N Step
SW7	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
SW8	ON	

(追加説明)

Mode Control Switch (前面) : HOST Link

I/O Port(背面) : RS – 422

Synchronize(背面) : Internal

Termination Resistance(背面) : システム構成により通信接続の先端部分に外部機器が位置する場合は[With]にセット、それ以外の場合には[Without]にセット。

CTS(背面) : 0V

– C500-LK203

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	Unit No. 0
SW2	OFF	
SW3	OFF	
SW4	OFF	
SW5	OFF	
SW6	OFF	7 – Bit Data Length, 2 stop Bits, Even
SW7	OFF	
SW8	OFF	Normal
DIP Switch 2	設定	説明
SW1	OFF	Transmission speed : 19.2 Kbps
SW2	OFF	
SW3	ON	
SW4	OFF	
SW5	ON	System #0
SW6	OFF	1 : N Step
SW7	ON	Level 1, 2, 3 Enabled
SW8	ON	

(追加説明)

Mode Control Switch(前面) : HOST Link

5V Supply(後面) : OFF

I/O Port(後面) : RS – 422

Synchronize(後面) : Internal

Termination Resistance(後面) : システム構成により通信接続の先端部分に外部機器が位置する場合は[With]にセット、他の場合には[Without]にセット。

CTS(後面) : 0V

3.6 設定サンプル 6

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-485 (2 wire, COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	0	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	9600		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCARD

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器設定

デフォルトとして設定されています。

以下で外部機器のマニュアルについて詳しく説明します。

設定項目	設定値
Speed	9600 bps
Start Bit	1 Bit
Data length	7 Bits
Stop Bit	2 Bits
Parity	Even
Unit No.	No. 0 Unit

3.7 設定サンプル 7

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLCP-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/Cv
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

Ladder Toolとセッティング値を、以下で説明します。

SW5をOFFにしてください。

外部機器の設定を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 STOP Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して外部機器をリセットしてください。

3.8 設定サンプル 8

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLCP-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バックアップ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

Ladder Toolとセッティング値を、以下で説明します。

SW5をOFFにして下さい。

外部機器の設定を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6555	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6556	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6558	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

前面にあるスイッチをセットして下さい。

スイッチ	セッティング
TERM	OFF
FIRE	Option

3.9 設定サンプル 9

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLC-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。
 - 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 装置管理者 インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■ 外部機器の設定
 “SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK” 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

- PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

CQM1H – SCB41BモジュールでRS422/485ポートを使用する際、Ladder toolと以下のセッティング値を使用して下さい。
外部機器の設定を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6550	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6551	0304(HEX)	19200bps, 7-Bits Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6553	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

前面にあるスイッチをセットして下さい。

スイッチ	セッティング
TERM	OFF
FIRE	Option

システム構成により通信接続の先端部分に外部機器が位置する場合はスイッチを“With termination resistance connection(ON)”にして、他の場合は“Without termination resistance connection(OFF)”にして下さい。


3.10 設定サンプル 10

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。



プロジェクト
 └─ PLC-GX7 設定
 └─ PLC-GX7-05-DC-R
 └─ PLC 設定
 └─ COM2 (1)
 └─ PLC1 : SYSMAC C/Cv
 └─ COM1 (0)
 └─ Ethernet (0)
 └─ FieldBus (0)
 └─ USB Device (0)
 └─ CF カード設定
 └─ CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

Ladder Toolとセッティング値を、以下で説明します。

常にSWモードセッティングでconversion adapterを[HOST]に合わせて下さい。

外部機器の設定を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6650	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6651	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6653	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

*CPU ポートに peripheral アダプターを接続して下さい。

3.11 設定サンプル 11

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器の置設定

Ladder toolと以下のセッティング値を使用して下さい。

常にSWモードセッティングでconversion adapterを[HOST]に合わせて下さい。

外部機器の設定を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6650	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6651	0304(HEX)	19200bps, 7-Bits Length, 2 stop Bits, Even Parity
DM6653	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

*CPU ポートに peripheral アダプターを接続して下さい。

3.12 設定サンプル 12

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLC-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

Ladder Toolとセッティング値を、以下で説明します。

SW5をOFFにしてください。

外部機器の設定内容を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6650	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6651	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6653	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットしてください。

前面にあるスイッチをセットしてください。

DIP Switch	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*CPU ポートに peripheral アダプターを接続してください。

3.13 設定サンプル 13

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 └─ PLC-GX7 設定
 └─ PLC-GX7-05-DC-R
 └─ PLC 設定
 └─ COM2 (1)
 └─ PLC1 : SYSMAC C/Cv
 └─ COM1 (0)
 └─ Ethernet (0)
 └─ FieldBus (0)
 └─ USB Device (0)
 └─ CF カード設定
 └─ CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

CPM2C – CIF01モジュールでRS 232Cポート使用する際のLadder Toolとセッティング値を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

前面にあるスイッチをセットして下さい。

DIP Switch	設定
SW1	OFF
SW2	ON

*CPU ポートに peripheral アダプターを接続して下さい。

3.14 設定サンプル 14

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLCP-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

CPM2C – CIF11モジュールでRS 232Cポートを使用する際のLadder Toolとセッティング値を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスタにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

3.15 設定サンプル 15

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-422/485	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番：外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

CPM2C – CIF11モジュールでRS 422ポートを使用する際のLadder Toolとセッティング値を以下で説明します。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスタにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

システム構成により通信接続の先端部分に外部機器が位置する場合、スイッチを“With termination resistance connection(ON)”に設定し、他の場合には“Without termination resistance connection(OFF)”にして下さい。

RS-485 インターフェーススイッチ.

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	4 wire communication
SW2	OFF	
SW3	OFF	RS control function of the CPU Unit
SW4	ON	

3.16 設定サンプル 16

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 └─ PLC-GX7 設定
 └─ PLC-GX7-05-DC-R
 └─ PLC 設定
 └─ COM2 (1)
 └─ PLC1 : SYSMAC C/CV
 └─ COM1 (0)
 └─ Ethernet (0)
 └─ FieldBus (0)
 └─ USB Device (0)
 └─ CF カード設定
 └─ CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

<p>+ COM 1</p> <p>- ボーレート: 19200</p> <p>- データビット: 7</p> <p>- 停止ビット: 2</p> <p>- パリティビット: Even</p>	<p>+ COM 2</p> <p>- ボーレート: 19200</p> <p>- データビット: 7</p> <p>- 停止ビット: 2</p> <p>- パリティビット: Even</p> <p>- 信号レベル: RS-232C</p>
--	--

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番：外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

Ladder Toolとセッティング値を、以下で説明します。

SW5をOFFにしてください。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスタにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

3.17 設定サンプル 17

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-422/485	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLCP-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器設定

Ladder Toolとセッティング値を以下で説明します。

SW5をOFFにしてください。

Register	設定	説明
DM6645	0001(HEX)	モード選択 : HOST Link
DM6646	0304(HEX)	19200bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
DM6648	0000(HEX)	HOST Link, Unit No. 0

各レジスターにデータを入力して、外部機器をリセットして下さい。

DIP Switch 通信セッティングは以下の通りです。

- ✓ SW1 : ON
- ✓ SW2 : システム構成により通信接続の先端部分に外部機器が位置する場合、スイッチを“With termination resistance connection(ON)”に設定し、他の場合には“Without termination resistance connection(OFF)”にしてください。

3.18 設定サンプル 18

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト
 PLC-GX7 設定
 PLCP-GX7-05-DC-R
 PLC 設定
 COM2 (1)
 PLC1 : SYSMAC C/CV
 COM1 (0)
 Ethernet (0)
 FieldBus (0)
 USB Device (0)
 CF カード設定
 CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
 GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 特殊/バックアップ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 PLC 設定 **装置管理者** インターフェース

* 通信ポート

<p>+ COM 1</p> <p>- ボーレート : 19200</p> <p>- データビット : 7</p> <p>- 停止ビット : 2</p> <p>- パリティビット : Even</p>	<p>+ COM 2</p> <p>- ボーレート : 19200</p> <p>- データビット : 7</p> <p>- 停止ビット : 2</p> <p>- パリティビット : Even</p> <p>- 信号レベル : RS-232C</p>
--	---

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

Port 1使用 (RS 232C)

Rotary Switch	設定	説明
SW3	0	Unit No. 0
SW4	0	

* sw1 と sw2 は示されている接続には関係がありません。

	設定	説明
5V Output Setting SW	Lower	Not Supply
Termination resistance SW	Lower	Termination resistance : Without

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	9600, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
SW2	ON	Port 1 : Always CTS signal ON
SW3	ON	Port 2 : Always CTS signal ON
SW4	OFF	Reserved : Always OFF
SW5	OFF	Wrap communication test : Execute normal operation
SW6	OFF	Unused

*ご利用の Ladder software にて、転送速度を 19200bps に変えて下さい。

3.19 設定サンプル 19

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCARD

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊/バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■ 外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番(PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

Port 1使用 (RS 232C)

Rotary Switch	設定	説明
SW3	0	Unit No. 0
SW4	0	

* sw1 と sw2 は示されている接続には関係がありません。

	設定	説明
5V Output Setting SW	Lower	Not Supply
Termination resistance SW	Lower	Termination resistance : Without
Channel toggle SW	Lower	RS 232C

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	9600, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
SW2	ON	Port 1 : Always CTS signal ON
SW3	ON	Port 2 : Always CTS signal ON
SW4	OFF	Reserved : Always OFF
SW5	OFF	Wrap communication test : Execute normal operation
SW6	OFF	Unused

* ご利用の Ladder software にて、転送速度を 19200bps に変えて下さい。

3.20 設定サンプル 20

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2)外部機器の設定

Port 2使用 (RS 422)

Rotary Switch	設定	説明
SW3	0	Unit No. 0
SW4	0	

* sw1 と sw2 は示されている接続には関係がありません。

	設定	説明
5V Output Setting SW	Lower	Not Supply
Termination resistance SW	Upper	Termination resistance : With
Channel toggle SW	Upper	RS 422

DIP Switch	設定	説明
SW1	OFF	9600, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity
SW2	ON	Port 1 : Always CTS signal ON
SW3	ON	Port 2 : Always CTS signal ON
SW4	OFF	Reserved : Always OFF
SW5	OFF	Wrap communication test : Execute normal operation
SW6	OFF	Unused

*ご利用の Ladder software にて、転送速度を 19200bps に変えて下さい。

3.21 設定サンプル 21

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-232C (COM2)	RS-232C	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-232C

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

RS 232Cポート使用時

	設定	説明
Communication Setting Toggle SW	Upper	RS 232C SIO Type

DIP Switch	設定	説明
SW4	OFF	19200 bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity, Unit No. 0
SW6	OFF	Termination resistance : Without

3.22 設定サンプル 22

システムを以下の通り設定します。

項目	GX7	"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK"	備考
シリアルレベル(ポート/チャンネル)	RS-422 (4 Wires, COM2)	RS-422	ユーザー設定
局番(PLC Address)	—	1	ユーザー設定
シリアルボーレート [BPS]	19200 bps		ユーザー設定
シリアルデータビット [Bit]	7		ユーザー設定
シリアルストップビット [Bit]	2		ユーザー設定
シリアルパリティビット [Bit]	Even		ユーザー設定
動作モード			ユーザー設定

(1) XDesignerPlus設定

[プロジェクト > プロジェクト設定]で以下の通り設定し、GX7機器に設定内容をダウンロードします。

プロジェクト

- PLCP-GX7 設定
 - PLCP-GX7-05-DC-R
- PLC 設定
 - COM2 (1)
 - PLC1 : SYSMAC C/CV
 - COM1 (0)
 - Ethernet (0)
 - FieldBus (0)
 - USB Device (0)
- CF カード設定
 - CFCard

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].

GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

HMI 設定 | 特殊バッファ同期化

☒ HMI 設定使用

システム設定 | PLC 設定 | **装置管理者** | インターフェース

* 通信ポート

+ COM 1		+ COM 2	
- ボーレート :	19200	- ボーレート :	19200
- データビット :	7	- データビット :	7
- 停止ビット :	2	- 停止ビット :	2
- パリティビット :	Even	- パリティビット :	Even
		- 信号レベル :	RS-422(4)

■外部機器の設定

"SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK" 通信ドライバのオプションを設定します。

通信オプション

PLC局番 (PLC) 0

– PLC局番 : 外部機器の設定局番

(2) 外部機器の設定

RS 422ポート使用時

	設定	説明
Communication Setting Toggle SW	Lower	RS 422 SIO Type

DIP Switch	設定	説明
SW4	OFF	19200 bps, 7-Bit Data Length, 2 Stop Bits, Even Parity, Unit No. 0
SW6	ON	Termination resistance : With

4. 通信設定項目

通信設定はXDesignerPlusもしくはGX7メインメニューで設定できます。通信設定は外部機器と同じように設定して下さい。

4.1 XDesignerPlus設定項目

以下の内容を示すために[プロジェクト > プロジェクトプロパティ]を選択して下さい。

■ [プロジェクト > プロジェクトプロパティ > プロジェクト > 設定 > GX7 Name].
GX7機器の通信インターフェースを設定します。

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > 装置管理者]

– 右ウインドウで [HMI設定 > HMI設定使用チェック > PLC設定]

■外部機器の設定

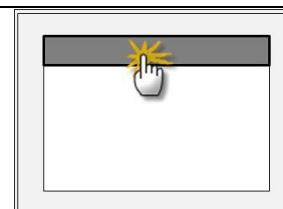
“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK” 通信ドライバのオプションを設定します。

ja 通信インターフェース設定

項目	内容
信号レベル	外部機器- GX7間のシリアル通信方式を選択します。(COM 1はRS-232Cだけを提供します。)
ボーレート	外部機器- GX7間のシリアル通信速度を選択します。
データビット	外部機器- GX7間のシリアル通信データビットを選択します。
ストップビット	外部機器- GX7間のシリアル通信ストップビットを選択します。
パリティビット	外部機器- GX7間のシリアル通信パリティビット確認方式を選択します。
タイムアウト[x100 mSec]	外部機器からの応答待ち時間を[0 – 5000] x 1 mSecに設定します。
送信遅延時間[x10 mSec]	外部機器からの応答受信 – 次のコマンド要請転送の間に待機する時間を[0 – 5000] x 1
受信待機時間[x10 mSec]	mSecに設定します。
PLC局番[0~65535]	相手機器の局番です。[0 – 65535]までの値を選択します。

4.2 GX7メインメニュー設定項目

- 電源をリセット中にブザー音が鳴った後、LCD上端1点をタッチして“GX7管理メイン”画面に移動します。
- GX7でドライバインターフェース設定は以下の**Step1** → **Step2**の内容に従って設定します。
(**Step 1.** で“GX7 COM 2/1設定”を押せば**Step2.**で設定を変えることができます。)



Step 1. [PLC設定] – ドライバインターフェースを設定します。

PLC設定	
PLC局番 : 01 タイムアウト : 1000 [mSec] 送信前の遅延時間 : 0 [mSec] GX7 COM 2/1 : RS – 232C , 19200 , 7 , 2 , EVEN	通信インターフェース設定
GX7 COM 2/1設定 通信診断	

Step 1-Reference.

項目	内容
PLC局番[0~65535]	相手機器の局番です。[0 – 65535]までの値を選択します。
タイムアウト[x1 mSec]	外部機器からの応答待ち時間を[0 – 5000] x 1 mSecで設定します。
送信前の遅延時間[x1 mSec]	外部機器からの応答受信 – 次のコマンド要請転送の間に待機する時間を[0 – 5000] x 1 mSecで設定します。
GX7 COM 2/1	外部機器に対するインターフェース設定です。

Step 2. [PLC設定] > [GX7 COM2/COM1設定] – 該当ポートのシリアルパラメータを設定します。

ポート設定	
* シリアル通信 + COM-1 Port - ボーレート : 19200 [BPS] - データビット : 7 [BIT] - ストップビット : 2 [BIT] - パリティビット : EVEN [BIT] - 信号レベル : RS – 232C	COM 1ポート 通信インターフェース設定
+ COM-2 Port - ボーレート : 19200 [BPS] - データビット : 7 [BIT] - ストップビット : 2 [BIT] - パリティビット : EVEN [BIT] - 信号レベル : RS – 232C	COM 2ポート 通信インターフェース設定

Step 2-Reference.

項目	内容
ボーレート	外部機器– GX7間のシリアル通信速度を選択します。
データビット	外部機器– GX7間のシリアル通信データビットを選択します。
ストップビット	外部機器– GX7間のシリアル通信ストップビットを選択します。
パリティビット	外部機器– GX7間のシリアル通信パリティビット確認方式を選択します。
信号レベル	外部機器– GX7間のシリアル通信方式を選択します。

4.3 通信診断

- GX7 -外部機器間のインターフェース設定状態を確認
- GX7の電源をリセットし、LCD画面の上端をクリックしてメニュー画面に移動する。
- [通信設定]で使用するポート[COM 2 or COM 1]設定が外部機器の設定内容と同じであるか確認する。
- ポート通信の異常の有無を診断
- PLC設定 > GX7 [COM 2もしくはCOM 1] “通信診断”のボタンをクリックする。
- 画面上にDiagnosticsダイアログボックスがポップアップするので、ボックスの3番項に表示された内容によって診断状態を判断する。

OK! 通信設定 正常

Time Out Error! 通信設定 非正常

- ケーブルおよびGX7/外部機器の設定状態エラー (参照：通信診断シート)

ja 通信診断シート

- 外部機器と通信接続に問題がある場合、以下のシートの設定内容をご確認下さい。

Designer Version					O.S Version				
項目	内容						確認		
システム構成	CPU名称						OK	NG	
	通信相手のポート名称						OK	NG	
	システム接続方法	1:1		1:N		N:1	OK	NG	
接続ケーブル	ケーブル名称						OK	NG	
PLC設定	設定局番						OK	NG	
	Serial baud rate	[BPS]					OK	NG	
	Serial data bit	[BIT]					OK	NG	
	Serial stop bit	[BIT]					OK	NG	
	Serial parity bit	[BIT]					OK	NG	
	アドレス割当範囲						OK	NG	
GX7設定	設定ポート	COM 1			COM 2		OK	NG	
	ドライバ名称						OK	NG	
	相手局番	Project Property設定					OK	NG	
		通信診断時					OK	NG	
	Serial baud rate	[BPS]					OK	NG	
	Serial data bit	[BIT]					OK	NG	
	Serial stop bit	[BIT]					OK	NG	
	Serial parity bit	[BIT]					OK	NG	

5. ケーブル表

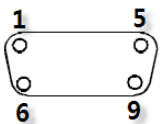
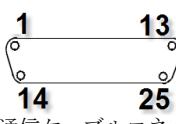
GX7と機器間における通常使用するケーブルダイアグラムを紹介します。

(本項で説明するケーブルダイアグラムはOMRON Industrial Automationの推奨事項と異なることがあります)

5.1 ケーブル表 1

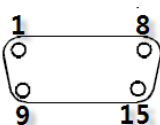
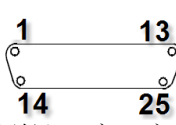
- 1 : 1接続

(A) GX7 COM 2ポート(9ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>	CD	1		2	SD	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 25 Pin male(オス、凸)</p>
	RD	2		3	RD	
	SD	3		4	RS	
	DTR	4		5	CS	
	SG	5		7	SG	
	—	—		20	ER	
	—	—				
	CTS	8				
	—	9				

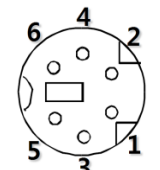
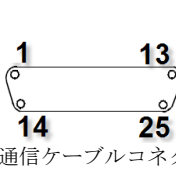
*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(B) GX7 COM 2ポート(15ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 15 Pin male(オス、凸)</p>	CD	1		2	SD	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 25 Pin male(オス、凸)</p>
	RD	2		3	RD	
	SD	3		4	RS	
	DTR	4		5	CS	
	SG	5		7	SG	
	—	—		20	ER	
	—	—				
	CTS	8				
	—	—				

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(C) GX7 COM 1ポート(6ピン)

GX7 COM 1ポート			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 6 Pin male(オス、凸)</p>	—	1		2	SD	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 25 Pin male(オス、凸)</p>
	RD	2		3	RD	
	SG	3		4	RS	
	—	4		5	CS	
	—	5		7	SG	
	SD	6		20	ER	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

5.2 ケーブル表 2

- 1 : 1接続

(A) GX7 COM 2ポート(9ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	1		5	SDB	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB	4		9	SDA	
	SDA	6		1	RDB	
	SDB	9		6	RDA	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(B) GX7 COM 2ポート(15ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 15 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	11		5	SDB	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB	12		9	SDA	
	SDA	13		1	RDB	
	SDB	14		6	RDA	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(C) GX7 COM 2ポート(ターミナルブロック 6 端子)

GX7 COM2		ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>	RDA		5	SDB	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB		9	SDA	
	SDA		1	RDB	
	SDB		6	RDA	
	SG				

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

5.3 ケーブル表 3

- 1 : 1接続

(A) GX7 COM 2ポート(9ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”	
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	1		RDA	<p>RS-422</p> <p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>
	RDB	4		RDB	
	SDA	6		SDA	
	SDB	9		SDB	
				SG	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(A) GX7 COM 2ポート(15ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”	
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 15 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	11		RDA	<p>RS-422</p> <p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>
	RDB	12		RDB	
	SDA	13		SDA	
	SDB	14		SDB	
				SG	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(C) GX7 COM 2ポート(ターミナルブロック 6 端子)

GX7 COM2		ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”	
ピン配列*注1)	信号名		信号名	ピン配列*注1)
<p>RS-422</p> <p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>	RDA		RDA	<p>RS-422</p> <p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>
	RDB		RDB	
	SDA		SDA	
	SDB		SDB	
	SG		SG	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

5.4 ケーブル表 4

図 1 : 1接続

(A) GX7 COM 2ポート(9ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>	RD	2		2	SD	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	SD	3		3	RD	
	SG	5		4	RS	
				5	CS	
				9	SG	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(B) GX7 COM 2ポート(15ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 15 Pin male(オス、凸)</p>	CD	1		2	SD	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RD	2		3	RD	
	SD	3		4	RS	
	DTR	4		5	CS	
	SG	5		9	SG	
	—	—				
	—	—				
	CTS	8				
	—	—				

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(C) GX7 COM 1ポート(6ピン)

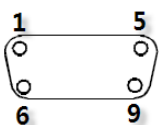
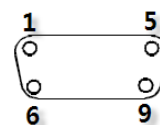
GX7 COM 1ポート			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 6 Pin male(オス、凸)</p>	—	1		2	SD	<p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RD	2		3	RD	
	SG	3		4	RS	
	—	4		5	CS	
	—	5		9	SG	
	SD	6				

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

5.5 ケーブル表 5

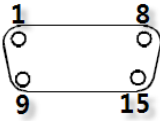
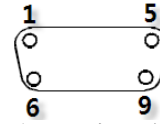
- 1 : 1接続

(A) GX7 COM 2ポート(9ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	1		2	SDB	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB	4		1	SDA	
	SDA	6		8	RDB	
	SDB	9		6	RDA	

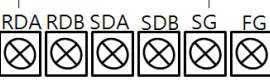
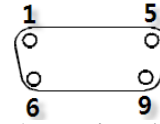
*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

B) GX7 COM 2ポート(15ピン)

GX7 COM2			ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名	ピン番号		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 15 Pin male(オス、凸)</p>	RDA	11		2	SDB	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB	12		1	SDA	
	SDA	13		8	RDB	
	SDB	14		6	RDA	

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

(C) GX7 COM 2ポート(ターミナルブロック 6 端子)

GX7 COM2		ケーブル接続	“SYSMAC CQM1H/α/CVM1/CV/CPM Series HOST LINK”		
ピン配列*注1)	信号名		ピン番号	信号名	ピン配列*注1)
 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準 ターミナルブロック 6 端子</p>	RDA		2	SDB	 <p>通信ケーブルコネクタ前面基準、 D-SUB 9 Pin male(オス、凸)</p>
	RDB		1	SDA	
	SDA		8	RDB	
	SDB		6	RDA	
	SG				

*注1) ピン配列は、ケーブル接続コネクタの接続面から見たものです。

6. サポートアドレス

GX7で利用できるデバイスは以下の通りです。

CPUモジュールシリーズ/タイプによってデバイス範囲(アドレス)に差があることがあります。

GX7シリーズは外部機器シリーズが使用する最大アドレス範囲をサポートします。

各CPUモジュールのマニュアルを参照し、使用するデバイスがサポートしているアドレスの範囲を超えないように注意して下さい。

Contents	Address Ranges
IP and SR Areas	IR 000 ~ IR 255 // IR 000 ~ 252
HR Area	HR 00 ~ HR 99
AR Area	AR 00 ~ AR 27
LR Area	LR 00 ~ LR 63
Timer and Counter Area	TIM/CNT 000 ~ TIM/CNT 511
Data Memory (DM) Area	DM 0000 ~ DM 6655 // DM 0000 ~ DM 6143
Extended Data Memory (EM) Area	EM 0000 ~ EM 6143
Indirect DM address	DM 0000 ~ DM 6655
Indirect EM address	EM 0000 ~ EM 6143
Constant Area	#0000 ~ #FFFF